

令和5年度 特別の教育課程の編成の方針について

茨城県

学 校 名	管理機関名	設置者の別
鹿嶋市立鉢形小学校（外 10 校）	鹿嶋市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の編成の方針に係る公表に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針に係る公表ウェブサイト名・URL 等
鹿嶋市立鉢形小学校	http://www2.sopia.or.jp/hachikko/wp-content/uploads/2023/05/【鉢形小】R5_特別の教育課程の編成の方針について.pdf

2. 特別の教育課程を開始又は変更した年度（特例の適用開始日）

2007年4月

2018年4月 変更

* 取組の期間

2030年4月まで

3. 特別の教育課程の概要、特別の教育課程を編成する際の各教科等の授業時数

急速なグローバル化の進展の中で、英語力の一層の充実は我が国にとって、極めて重要な問題であり、国民一人一人にとって、異文化理解や異文化コミュニケーションはますます重要になる。その際、国際共通語である英語力の向上は日本の社会にとって不可欠である。これからの時代において必要とされるグローバルな視野を持った人材を早期から育成するため、小学校第1学年及び第2学年の生活科20時間を外国語活動に替えて実施する。

4. 地域や学校の特色とその特色を活かして特別の教育課程を編成して教育を行う理由

本市は常陸国一の宮鹿島神宮の門前町として栄え、発展してきた。また、2002年にはFIFAワールドカップの会場地となり、2021年には東京オリンピックサッカー競技が開催された。歴史的伝統とスポーツによる活力あるまちであり、「子どもが元気 香る歴史とスポーツで紡ぐまち 鹿嶋」を本市総合計画における将来像に掲げている。世界の人々とのコミュニケーションをとおして、本市の魅力を世界に発信していくことができるグローバルな人材育成をより一層推進することが、本市の発展と教育活動の充実に必要であると考え、教育課程の特別措置申請を行うこととした。

5. 実施の効果、課題および方向性

(1) 特別の教育課程の編成・実施の効果と手立て

本校は、「児童自らの学びを見つめ、『知りたい』『学びたい』と意欲的に取り組むことのできる教育活動を推進する」を組織目標の重点課題として、第1学年及び第2学年の外国語活動では、以下の効果と課題がある。

- ・英語の音声に慣れ親しみ、簡単な英語を使用して、互いの考えや気持ちを伝え合おうとする態度が育っている。
- ・英語を話すことに抵抗がある児童がいるため、楽しく英語に触れさせる指導の工夫が

必要である。引き続き手遊びや歌などの活動を取り入れ、楽しく学べるようにする必要がある。

(2) 課題の改善のための取組の方向性

- ・児童にとって自己関連性のある課題を設定して、英語で互いの考えや気持ちを伝え合えるようにする。
- ・児童が英語を話すことへの抵抗を減らすために、手遊びや歌などの活動を取り入れる。
- ・児童が既習表現を繰り返し使う場面を意図的に設定し、自信をもって英語を使えるようにする。